

子ども向け

福祉の耳より
だより

ふくみみ

ナンバー No.11

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会
発行人 上條 公司
〒270-1325 印西市竹袋614-9
印西市総合福祉センター内
☎0476-42-0294
FAX 0476-42-0338
E-mail info@inzaishakyo.jp
URL http://www.inzaishakyo.jp



「ふくし(福祉)」ってなに？

「ふ」 ふだんの
「く」 暮らしを
「し」 しあわせに



「ふくし(福祉)」とは特定のだれかではなく、みんながしあわせになれるように取り組む活動や仕組みのことで、漢字では「福祉(ふくし)」と書き、「福」も「祉」も、どちらも「幸福」や「しあわせ」を意味しています。

ふくし(福祉)は、わたしたちにとって身近なものであり、みんなの暮らしの中にあるものです。普段生活している中で、しあわせを邪魔するものがあると思います。病気やケガ、歳を取って体が動きづらい、話し相手がない、生活に困っているなど、そういった生活のしづらさを取り除き、しあわせになれるようにすることが「ふくし(福祉)」です。

ふくしの活動ってどんなこと？

ふくしの活動は、自分の身近なところで「おたがいにたすけあう」活動です。ふくしの活動ってむずかしいかと思っていたかもしれませんが、そんなことはないですよ？困っている人に何かをしてあげたいと思うことが、ふくしの活動の第一歩になります。



まずは、家族や友達がしあわせになれるように、身近なところから始めてみましょう！

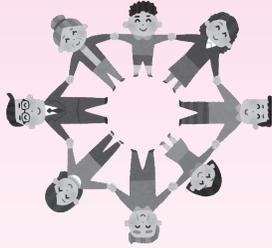
おうちで食器を洗ったり、学校でゴミを拾ったり、困っている友達の手助けやまち中での道案内など、普段の生活のちょっとしたことから始めてみましょう！

おうちのひとと、いっしょによんでみましょう！ ウラ面につづくよ！！

しゃ かい ふく し きょう ぎ かい

社会福祉協議会ってなに？

社会福祉協議会は、だれもが安心して自分らしく暮らせるようにみんなでたすけあう活動をおこなっています。困っている人をたすけるためにさまざまなサービスを提供したり、困っている人をたすけたいと思っている人に、ボランティア活動を紹介しています。また、みんなに「ふくし」を知ってもらえるように、講座やイベントを開いたり、いろいろな方法で地域のみなさんと一緒にふくしの活動をひろげています。



みんなで支え合って安心して暮らせるまちづくり、「ふだんのくらしをしあわせに」を目指すのが社会福祉協議会のおしごとです。

いんざい し しゃ かい ふく し きょう ぎ かい

み ぢが

印西市社会福祉協議会がみんなの身近なところでおこなっていること

印西市社会福祉協議会は、みんなの身近なところで、高齢者疑似体験や車いす体験、子ども夏休み体験講座などをおこなっています。

また、地域のボランティアが活動する8つの支部があり、登下校時の見守りや地域の高齢者との昔あそび体験、ものづくり体験などをおこなっています。

高齢者疑似体験や車いす体験は、高齢者や車いすの方が生活の中で何に困っているのかを知ってもらい、助け合いの気持ちを持ってもらうこと。地域の高齢者との交流からは、ご近所の高齢者と顔見知りになってもらい、地域で安心して生活できるようなつながりをつくってもらうことを目的に活動しています。そうした活動から、印西市社会福祉協議会では「ふだんのくらしをしあわせに」を目指しています。

みんなでたすけあうってとても大切です！困っているときはおたがいさまの気持ちをもって「ふだんのくらしをしあわせに」

みんなが安心して暮らせる、しあわせいっぱい印西市にしていきましょう！



子ども夏休み体験講座について

印西市ボランティアセンターでは、毎年夏休みに小学生を対象とした「子ども夏休み体験講座」を開催しています！

去年は、身体に障がいのある人をサポートしている介助犬について、千葉県介助犬協会から訓練士の方々とPR犬ハンスくん

をお呼びして、介助犬についてのお話や、デモンストレーションをおこなっていただきました。

今後も、小学生の皆さんに「ふくし」を身近に感じていただく機会として、体験講座を企画していきますので、皆さんの参加をお待ちしています☆



【ふくみみ】ってなに？

・みみたぶのおおきいみみ・しあわせをはこぶみみ・しあわせがあらわれているみみ…をいいます。